

＜第3回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和7年6月24日（火） 18:00～19:10

場 所 竜神交流館 多目的ホール

出席者 委 員 14名

事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、鈴木担当長

1 報告事項

（1）安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について

- ・移動式赤色回転灯を活用した交通安全啓発について
- ・交通安全危険箇所マップの全戸配布（6月）
- ・地域会議だよりの自治区回覧（6月）
- ・安全運転トレーニングサービス「ドラみる」体験者を募集

（2）高岡4地域合同事業の進捗について

【防災対策・交通安全】

- ・5月18日(日)高岡コミセン「春の子ども祭り」出展実施報告
- ・防災バスツアーについて
- ・防災士養成研修講座の案内

【交通安全】

- ・6月8日(日)トヨタ自動車高岡工場「ワクフェス」出展実施報告
今後の予定をお知らせ

6月28日（土） マイタウンおいでん高岡

9月20日（土） 秋のコミセン祭り

10月5日（日） トヨタ自動車堤工場祭

【防犯対策】

- ・笑劇波による「特殊詐欺防止」講座
1月22日(木)午前中（場所は調整中）

2 協議事項

（1）次の提言に向けて竜神地域が取り組むべき地域課題について

【事前に提出された意見の補足、意見への質問など】

（委員）

今まで交通安全のハード面の協議をしてきたが、ソフト対策として認知症やそれに近い人の認知機能の計測を、地域で楽しく取り組めるようにと提案した。

（委員）

認知機能の計測機器は、どれくらいの台数があるのか？

（事務局）

ディーラー10社に2台ずつ配置されている。

(委員)

高齢者の移動支援で提案させていただいた。過去の提言では、豊南地域で「高齢者の移動支援の取組に対する支援」があった。実際の取組例があれば教えてほしい。

(事務局)

前林地域で昨年度コミュニティカーシェアリングの実証を行った。地域で車両を所有して地域の人が要請に応じて運転するという仕組みであった。車両の所有者も運転者も地域なので白タク行為にならないという仕組みになっています。

若林地域では、個人の車両を使用して、地域の人が運転する方法で、地域のお助け隊が運営している。収益を上げてしまうと白タク行為になってしまうので、運転手には必要経費のみ支払われています。

(委員)

去年から委員を務めているが、なぜ交通安全対策なのかという点をなかなか理解しないまま過ごしてきた。赤色回転灯など、物的対策にいろいろ取り組んだことを、区民にどう喜んでもらうかという点がよくわからない。

マップを作ったが、配布しただけではなく、どう使っていただくかが最終的に目指すところであるはず。例えばマップを使って小学校の 6 年生が 1 年生に指導するなどが考えられる。

(事務局)

課題の設定から対策の立案、実施、実際の効果にいたるまで住民を巻き込んで浸透させる進め方にしていけるとよいということでしょうか。

(委員)

今は、取り組んでよかったという思いが、この会議のメンバー内でとどまってしまっている感じがしている。

区民の皆さんが、やってよかったなと思える取組となると、非常に大きな熱量が必要だが、どのくらいの熱量で通り組んだらよいのかわからないままこの 1 年が過ぎたというのが実感である。

(委員)

交通安全対策事業を 2023 年から取り組んで 3 年目になり、どのような成果があったのか評価をすべきではないかと思う。コミュニティの醸成という意見もあり、自治区民や竜神地域全体が盛り上がるような行事的なものに転換していてもよいと思う。交通安全マップは小学校と協力するなどして活用するところまで進めるべきである。

(委員)

自分の感覚では、コミュニティの醸成は、行事というよりも地域を巻き込んだ「活動」のイメージである。

(委員)

自分の自治区には神社がありお祭りがあるが、大きなものではない。ふれあい祭りもあるが、さらに人が集まるようにもう一段階上に引き上げたい。行事があっても参加していない人もいたので、何とかできないかと思う。

(委員)

先ほど「活動」という言葉を使ったが、交通安全危険箇所マップでいえば、小学生が登下校の時に、6年生が危険な場所を下級生に伝えとか、学校または地域会議から依頼して、家庭で親子で地図を見て話し合ってもらい、その結果を、学校へ出してもらいマップにフィードバックするとか、そういった日々の活動をイメージしている。

(委員)

交通安全危険箇所マップを作って自分が思いついたのは、示された危険箇所で自分ならどう行動するかということを競い合って投稿するような仕組みが出来ると、多くの人に参加し、意識を高めることができると思う。

(事務局)

今回の資料 7 のシートをみて、分野ごと今後取り扱いたいと思う優先度を記入してほしい。また追加するご意見があれば書いていただきたい。

(委員)

どの分野も大事なので優先度はつけようがない。優先度をつけるなら、それぞれの分野の評価と、できることできないことを示したうえではないか。

防災マップが活用されていないという意見が出ていたが、交通安全危険箇所マップについても、ただ配っただけでは意味がなく、どう活用するかが大事である。過去に地域で防災の取組みを投げかけたところ参加者はゼロであった経験がある。災害の時には消防団が頼りだが、消防団員がなかなか集まらないという状況で、市と地元がどう協力できるのか。人が参加しないから活用ができないのではないかという思いなのでその点を考えてほしい。分野によって優先順位をつけず、すべて協議していくということによいと思う。

(事務局)

すべての内容を同時に協議するのは、難しいと思う。

(委員)

難しいとは思わない。出された課題には共通点があるのでそこを検討すればよいと思う。共通点は人であり地域の輪であるのでそれを作れば、全部良いほうに向かうと思う。

(事務局)

委員の皆さんがこのテーマに賛同いただければ、この会議で協議していくこともできます。

(事務局)

今年度の交通安全のスケジュールでは、行政と地域との共働で、ウォーキングイベントなどで危険箇所を確認するような想定をしています。また、学校を巻き込むには市から直接学校へ相談するよりも、地域から交推協に話してもらうほうがスムーズに進めることができます。地域から交通安全危険箇所マップがあるから活用できないかと声掛けしてもらえるとありがたい。新たなものを作るには時間や労力もかかることから、現在ある組織とコラボして取り組めるようなアイデアを出してもらえるとうれしいです。

今年の予定でスマートポールと多機能カーブミラーの設置もありますが、予定よりも実施が遅れています。事業の成果が見えない中で、次の検討課題の優先度を決めることは難しいと思いますが、次の提言につなげていくためにも、いいアイデアがあればぜひ教えていただきたいです。

3 連絡事項

地域会議委員 1 名の辞任について事務局からお知らせ

★次回開催

7月22日(火) 午後6時00分～